



はすだっこ

平田小学校 学校だより 1月号 2025. 1. 8 文責：飯塚 積



正しく強く温かく

(は) はきはき話す子
 (す) すずんで取り組む子
 (だ) だれにもやさしい子
 (つ) つよい心と体の子
 (こ) こんき強くやり抜く子

謹賀新年

2025年(令和7年)・3学期スタート！！

保護者・地域の皆様には、本年もご支援ご協力よろしくお願いいたします。

1月8日(水)児童の元気な声と共に、今年度の締めくくりとなる3学期がスタートしました。

今年2025年(令和7年)は、スポーツ関連では、世界的大イベントである「世界陸上競技選手権大会」や「デフリンピック」が東京で、出場チームが32チームに拡大され初となる「FIFAクラブワールドカップ」が開催されます。

そのような2025年ですが、十二支でいうと「巳年」です。十二支は、月の満ち欠けをモデルにして生命の循環を表し、「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」と12に等分されています。

「子」は種子が土中で発芽の時期をまさに迎えた瞬間を意味し、「丑・寅・卯・辰・巳」と芽が徐々に育ち、「午」で陰陽の転換点を迎え、「未・申・酉・戌」と結実します。そして最後の「亥」で地面に落ちた種が土中へ埋まり、次世代の生命へと繋がっていきます。その中で「巳」は、成長しきって次の新たな生命を生み出す準備が整ったことを意味しています。また、干支は「乙巳(きのと・み)」で、変化の年です。良い変化になるか、悪い変化になるかは、一人一人に委ねられています。(歴史学者・東洋古代思想史研究家 村上瑞祥 HP参照)

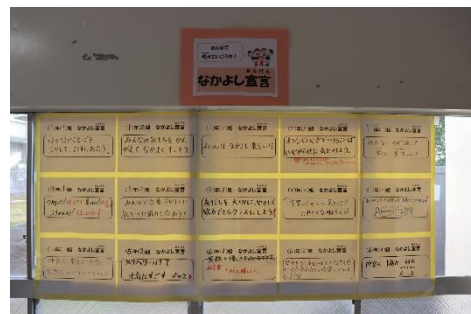
「巳年」・干支の「乙巳」の意味を踏まえ、例年以上に、新年を迎えたこの時期は、新しいステージのスタートとなる大事なタイミングです。「新たな目標」を立て取り組んでいく必要があると考えます。そこで、児童には、今まで同様、具体的な目標をもって、目標達成のために、何事にも進んで挑戦し続けて、成功した時には自信にして、失敗した時には多くのことを学んで次に活かしてほしいと思います。また、3学期に関しては、6年生は中学校で必要な力を、5年生は最高学年として必要な力を、1～4年生は上の学年で必要な力をより一層育ててほしいと思います。(上記の内容と同様の話を、始業式の時にも話しました。)

「利他」を言動に表す子 人権教育！！

12月4日(水)から12月10日(火)は、人権週間でした。本校では、それに合わせ、6日(金)「人権集会」を計画しました。

「なかよし宣言」作り

「人権集会」に向けて、各学級で「なかよし宣言」作りを行いました。各学級で、発達段階に合わせ、人権の意味を確認した後、みんなが安心して過ごせるクラスにするためにはどんな取り組みをしたらよいか話し合い、「なかよし宣言」の文言を決めました。



「人権集会」

計画委員会主催の「人権集会」が開かれました。人権標語表彰・入選作品の紹介、各学級の「なかよし宣言」の発表、「言葉遣いアンケート」の結果発表、なかよしゲーム(じゃんけん列車)、全校合唱「世界がひとつになるまで」がありました。各学級の「なかよし宣言」の発表では、力強く宣言をしてくれました。宣言して終わりではなく、実行に移しより一層安全で安心な学級・学校にしていってほしいと

思います。ちなみに、12月25日(水)終業式で、取り組み状況を確認したところ、まだ十分ではないようです。引き続き、3学期も意識して過ごしてほしいと思います。

集会を通して、相手の気持ちを思いやり尊重すること、「ほかほか言葉」を使ってお互いの思いを伝え合うことはとてもよいこと等を、改めて学ぶことができました。

「ありがとうカード」

「人権集会」後、児童会の計画委員会の企画で、全校のみんな一人一人のあたたかい気持ちが込められた「ありがとうカード」が昇降口に登場しました。また、「人権集会」に向けて行われた「言葉遣いアンケート」の結果も掲示されました。今後も、人権意識・実践力等を高めるために様々な取組を行っていきます。



なお、平田小学校では、【学校経営方針】として、以下のことを掲げ取り組んでいます。

【学校経営方針】

安全・安心の保障 「子どもたちが安心して学習・生活できるように ～独りぼっちにしない～」

全ての秩序を人権尊重の上に置き、子どもの成長の「根っこ」を養う教育活動を、協力し合いながら推進する。

★「わかる授業づくり」⇒学習環境：学び合う集団づくり・心の居場所となる集団づくり・教室環境の整備

学習指導：主体的・対話的で深い学び

生徒指導：自己指導能力の育成（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場）

★「心の居場所づくり」⇒安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所

★「絆づくりのための場づくり」⇒主体的に取り組む活動を通し、活躍できる場

【根っこ】 ★人権感覚を高める（・思い合う心）

★話を聴く（・「何が大切なのか」を聴き取る ・「質問する」「考えを返す」）

★時を守る（・チャイムで始まり、チャイムで終わる）

★場を整える（・準備、片付け、整理整頓 ・清掃）

★礼を正す（・目を合わせる ・あいさつを交わす）

今後も、令和8年度から始まる「出雲市同和教育研究指定事業」に向けて、地域・家庭と連携協力しながら、より一層人権・同和教育を推進していきたいと考えています。

ふるさと平田を育てる子

「平田一式飾り」作り(4年生)

11月28日(木)に、平田一式飾り保存会の方に来ていただき、平田一式飾りの作り方・始まり・今後などについて詳しくお話を聞きました。お話を通して、平田一式飾りは、230年という長い歴史があり、国内外で高い評価を受けており、この文化が絶えることなく受け継いでいく必要があると強く感じました。作品は、12月13日(金)に完成しました。4日間の製作活動を通して、子どもたちは、地域の方が高い技術を持っていらっしゃることや平田一式飾りという文化を守り続けていらっしゃる思いや願いを強く感じる事ができたのではないのでしょうか。最後になりましたが、平田一式飾り保存会の方には、ご多用の中大変お世話になり、ありがとうございました。



「学校だより」は、本校のホームページにも掲載しています。 <https://www.izumo.ed.jp/hirata-sho/>

また、「ブログ」でも学校の様子をお伝えしています。 <https://blog.izumo.ed.jp/hirata-sho/>

